

# 「人の活躍」に関する現状マップ（イメージ図）

戦後高度成長期を経て培われてきた経済社会モデルに最適化した人材育成と労働市場

社会のしくみ

## 教育環境

- ◆ 少子化を始めとした社会変化

### 就職前教育

- ◆ 全国的な水準の維持向上に重点
- ◆ 画一性が重視される教育
- ◆ 科学技術の進展など、未来を展望した長期的視野が不十分

- ◆ 家計を圧迫する教育費負担

- ◆ 教育と職業の不連続の傾向（学習内容が労働市場で評価されない）

### 就職後教育

- ◆ 学卒後の教育訓練が企業のOJTに依存
- ◆ 社会に出てからの学び直しが不活発

## 働く環境

- ◆ 人口減少・高齢化の下で求められる人材像や働き方の変化

### 企業内部

#### 正社員（無限定雇用）

- ◆ 新卒一括採用（ポテンシャル採用）
- ◆ 自社育成主義
- ◆ チーム力の重視
- ◆ 職務を明確にしない働き方
- ◆ 年功を重視した処遇
- ◆ 安定雇用・長時間労働・生計に応じた賃金・OJT中心の訓練

- ◆ 非正規：低賃金・不安定雇用・OJTの機会が少ない

- ◆ 国際的にみると若者中心に低失業率
- ◆ 外部労働市場（専門職・中途採用）が未発達
- ◆ 外部労働市場での能力評価軸がはっきりしない

- ◆ 就労をサポートする社会資源が不足

## 高齢者の働き方

- ◆ 定年の設定とそれを境にした働く環境の激変
- ◆ 高齢者の能力活用の場の不足
- ◆ 技能継承者の不足

## 高齢者の生活

- ◆ 高齢者の割合の増加
- ◆ 疾病構造は生活習慣病中心に
- ◆ 団塊の世代の高齢化に伴う介護ニーズの急増
- ◆ 国民皆保険の下での医療アクセスの容易さ
- ◆ 高齢者の「居場所」や「生きがい」の問題

## 人の生涯

### 人材育成

- ◆ 平均的な学力は世界でもトップクラス
- ◆ 生涯を生き抜く力の養成が不十分
- ◆ 留年や中退などの「ノンストレーター」が活躍できない教育環境
- ◆ 親の所得による教育の格差
- ◆ グローバルプレイヤーへの挑戦が容易でない
- ◆ キャリア形成を主体的に行う力や職業に必要な専門性が身に付かない

### 働き方

- |            |                                 |                          |
|------------|---------------------------------|--------------------------|
| <b>正社員</b> | ◆ 金銭的な生活は相対的に安定的                | ◆ 企業主導のキャリア形成            |
|            | ◆ 長時間労働になりやすくワークライフバランスがとりづらい   | ◆ 離職した中高年層の再就職難          |
|            | ◆ 家事・育児が配偶者（特に女性）に集中しがち         |                          |
| <b>女性</b>  | ◆ 能力を活かして活躍する場が少ない<br>⇔非正規雇用が多い | ◆ 長時間労働しなければ管理的立場に上がりにくい |
|            | ◆ 出産・育児期の離職が少なくない               | ◆ キャリア形成が難しい             |
|            |                                 | ◆ 出産・育児後に再就職が難しい         |
| <b>非正規</b> | ◆ 正社員への転換機会が少ない                 |                          |
|            | ◆ 雇用不安定・低賃金で生活が不安定              |                          |
|            | ◆ 学卒後の訓練が評価されない                 |                          |

### 高齢期の働き方・生活

- ◆ 平均寿命・平均余命の延伸
- ◆ 高齢者の体力の向上・活動意欲の高まり
- ◆ 医療コストへの意識不足
- ◆ 予防、健康維持などに関する意識の格差
- ◆ 若い頃の働き方が高齢期の生活基盤に大きく影響
- ◆ 人間関係のつながりの重要性
- ◆ 高齢期の職業能力活用

- ◆ ニート・フリーターなどが職業能力を身に付ける場が少ない
- ◆ グローバル人材養成など、仕事と結びついた再教育の場が少ない
- ◆ 生涯に渡って学べる場が少ない
- ◆ 充足感を感じにくい生活状況

## 社会の課題

グローバル化

少子化・人口減少

地域の存続

安定的な経済成長

格差の拡大

社会保障負担の増加

# 未来を見据えた「働き方」に関する論点

## 現状

### 働く環境

- ◆人口減少・高齢化の下で求められる人材像や働き方の変化

### 企業内部

#### 正社員（無限定雇用）

- ◆新卒一括採用（ポテンシャル採用）
- ◆自社育成主義
- ◆チーム力の重視
- ◆職務を明確にしない働き方
- ◆年功を重視した処遇
- ◆安定雇用・長時間労働・生計に応じた賃金・OJT中心の訓練
- ◆非正規：低賃金・不安定雇用・OJTの機会が少ない

- ◆国際的にみると若者中心に低失業率
- ◆外部労働市場（専門職・中途採用）が未発達
- ◆外部労働市場での能力評価軸がはっきりしない
- ◆就労をサポートする社会資源が不足

### 働き方

#### 正社員

- ◆金銭的な生活は相対的に安定的
- ◆長時間労働になりやすくワークライフバランスがとりづらい
- ◆家事・育児が配偶者（特に女性）に集中しがち
- ◆企業主導のキャリア形成
- ◆離職した中高年層の再就職難

#### 女性

- ◆能力を活かして活躍する場が少ない⇔非正規雇用が多い
- ◆出産・育児期の離職が少なくない
- ◆長時間労働しなければ管理的立場に上がりにくい
- ◆キャリア形成が難しい
- ◆出産・育児後に再就職が難しい

#### 非正規

- ◆正社員への転換機会が少ない
- ◆雇用不安定・低賃金で生活が不安定
- ◆学卒後の訓練が評価されない

## ○ 「働き方」に関する論点

- **性別、年齢、時間、場所にとらわれず、働く意思のあるすべての人がその能力を発揮することができる働き方**
  - ・長時間労働につながりにくい働き方
  - ・家庭と仕事が両立できる多様な働き方
  - ・職業能力・成果の評価のあり方
- **一度就職に失敗したり、何らかの事情で離職したりしても再チャレンジが可能な社会のあり方**
  - ・転職・再就職が可能な労働市場
  - ・主体的なキャリア形成のあり方
  - ・非正規のステップアップ、非固定化
- **出生率の上昇と両立する働き方**